

「小倉高校でっかくアピール」



恩師に囲まれサイン入り色紙を披露する木谷投手

プロ野球ヤクルト 2位指名

木谷投手(日本文理大)

母校を笑顔で訪問

プロ野球ドラフト会議で、東京ヤクルトスワローズから2位指名を受けた木谷良平投手(22)は日本文理大4年・大分市に10日、プロに指名された報告のため母校・小倉高を訪れた。

高3の夏に福岡大会で8強入りした木谷投手は、当時からプロ注目の右腕でドラフト候補と見られていた。プロ野球志望届を提出したが、その年のドラフトでは声がかからなかつた。

大学進学後、得意の直球とフォークに磨きをかけ、一昨年の第58回全日本大学野球選手権でベスト8進出の原動力となった。

この日、平居孝之学長と中村壽博監督とともに小倉高を訪れ、大下一幸校長らの出迎えを受けた。大下校長から「指名時に小倉高校出身と報道され、とてもうれしかった」と指名を祝福された木谷投手は「まず年間フル出場を目指してエースと

なり、小倉高校がでっかくマスコミに出るよう頑張ります」と活躍を誓っていた。

木谷投手は大下校長に、大学選手権当時のパネル写真とサインボールを贈呈。職員室でかつての恩師たちとも懇談し、サイン入り色紙をプレゼントした。元担任の松本哲也教諭(47)は「マイペースで、ものに動じない生徒だった」と振り返り、教え子の成長に目を細めていた。【久松圭】